

組織現勢 (3月1日現在)

組合員数	20,285人
出資口数	116,602口
2月の新規加入	22人
2月の増資口数	5,188口

No. 401 再生紙を使用しています。

城南の保健

発行所
城南保健生活協同組合
本部事務局 大田区大森東4-6-15-101
TEL (3762) 0266
振込銀行 さわやか信用金庫大森支店
口座(普) 0469459
発行 「城南の保健」編集委員会
年10回発行・定価1部 30円

この間、東京南部法律事務所、東京南部生協と共催で、「大憲法カフェ」や「憲法学習会」に取り組んできました。南スーダンへの自衛隊派遣中止、辺野古新基地建設撤回、そしてなによりも安保関連法(戦争法)の廃止に向けて、引き続き力を合わせていきたいと思います。



憲法施行70年

城南保健生協は、安保関連法(戦争法)の廃止と立憲主義を取り戻し、憲法9条を守る共同の輪を大きく広げます!!
(2016年度総代会スローガン)

5月3日(水)は「5・3憲法集会」です(有明・東京臨海防災公園 12時)。

テーマは
●日本国憲法を守り生かし、不戦と民主主義の心豊かな社会をめざします。

青空の下、さわやかな風を受け タスキをつなぐ 全26チーム完走



全チーム完走、いい汗かきました

3月5日(月)、多摩川ガス橋下(大田区側)で、第7回早春駅伝フェスティバルが開催されました。今年は全26チームがエントリー。1チーム4人で1人2・5キロ、4人で計10キロを走ります。

各チーム、さまざまな思いを込めてタスキをつないでいきました。当日は、終始快晴でランナーにとっては少し暑いぐらいの陽気でした。参加した「ドルフィン」とするんチームでは水泳の障がい者クラスの会員さんが2人出場し、がんばって完走しました。会場は大きな声援と温かい拍手で包まれました。

ランナーの皆さん、当日の要員で協力いただいた皆さん、本当にお疲れさまでした。来年もまた元気に会いましょう!

駅伝タイムは2面



タスキをつないで



それぞれの思いを胸に

●2度と戦争の惨禍を繰り返さない誓いを胸に、戦争法の廃止をめざします。
●沖縄県民と意思を共にし、辺野古新基地建設の撤回を求めます。
●被災者の思いに寄り添い、原発のない社会をめざします。

そして、8月6日(日)は「憲法こそ宝もの!」と題して、伊藤真弁護士(松元ヒロさんのスペシャルライブ)の講演と「憲法くん」がやってくる松元ヒロさんの会場で大田区民ホール・アプリコ大ホール。参加費は500円です。東京南部法律事務所・東京南部生協・城南保健生協の共催企画です。

憲法施行70年企画
憲法こそ宝もの!
もっと知ろう 憲法のこと
2017年8月6日(日) 14:00~16:00
【会場】大田区アプリコ大ホール 参加費 500円

一講演—
日本国憲法の理念を伝える伝道師
弁護士伊藤真さん

■プロフィール
・弁護士、法学部法律学専攻教授
・伊藤真(法政大学の憲法研究) 部長
・法学部憲法研究センター 部長
・自民党 憲法問題対策本部 副本部長

—スペシャルライブ—
「憲法くん」がやってくる
松元ヒロさん

主催: 東京南部法律事務所 城南保健生活協同組合 東京南部生活協同組合
チケットお申し込み・お問い合わせ先:

先日、高校生の娘が高校の研修合宿で長崎と沖縄に行きました。家に帰って来て「楽しかった?」と聞くと、「楽しくはない。ただとても勉強になった。頭が混乱して、今までこんなにいろいろ考えたことはない時間だった」と答えて、長い時間報告してくれました。いろいろ聞くと、長崎では被爆された方のお話を何人も聞いて、沖縄では普天間基地を見て「なぜなんだ?」の疑問がわき上がったようです。

(城南保健生協専務理事 横山直城)

春の健康バスハイクのご案内 「絶景! 富士といちご狩り」伊豆の旅

今回の旅は、伊豆。中伊豆ワイナリーでのワインの試飲と伊豆フルーツパークでいちご狩り。さらに、富士山を一望できるレストランでのお昼ご飯。そして、清流・柿田川の源「わき間」のある柿田川公園を散策します。沿津で海産物のお買い物も楽しめる、盛りだくさんの旅をご一緒にいかがですか?

【日にち】 4月23日(日) 雨天決行
【定員】 140名(バス3台) 定員になり次第締切
【参加費】 大人 7,000円

*昼食付き(しらす釜まぶし御膳)です!
*詳しくは 折り込みチラシか生協本部まで



吉川英治の「三国志」は今でも多くの人に読み継がれています。時は3世紀から4世紀にかけて、舞台は中国大陸。漢が滅び大陸では魏・呉・蜀の勢力が覇を競い合う時代へ。桃園に集う3人の傑物、劉備・張飛・関羽が蜀を立ち上げ、統一国家をめざす。その頃の日本は邪馬台国の時代。卑弥呼は海を渡り魏に使者を送っている。その関係を記したものが「魏志倭人伝」です。▼長大な物語「三国志」は豪傑・軍師が次々に登場。現在にも伝わる合戦がめまぐるしく展開される。やがて時代は移り、蜀に劉備・張飛・関羽はすでに亡く、三顧の礼によって迎えた諸葛孔明が劉備の子・劉禪を輔佐して蜀を支える。やがて孔明も五丈原で魏軍と対陣中に病死。三国はいずれも第一世代から第二世代へ。そこにはもはや国づくりの情熱は薄まり、功名と保身をもっぱらとする時代へ変わってゆく。そして新しく台頭してきた晋の前には時を同じくして滅亡▼さて、現在の日本。政権党の中枢にいる代議士の多くが第二、第三世代。先代、あるいは先々代は政敵を蹴落とし、利権にまみれながらも、国民を守るといふ思いをどこかに保っていた。しかし世襲で地位を得た輩には祖父や父に並びたいという思いばかりに駆られて、能力においては遠く及ばない。「三国志」に描かれた第二世代に共通する。能力に欠けた連中は、自ずと家柄や肩書きにこだわる。歴史を見つめる眼も鈍く、祖父と父の背中ばかりが視野の中にある。要するに人格が形成されていないのだ。